

有限会社創修

事業

高付加価値商品の開発とノベルティ事業参入による売上の増大

対象類型

ものづくり技術

導入機械装置

レーザー加工機／C180II30W
UVプリンター／LEF2-200

経営理念

人創り・もの創り・仕事創り

山の豊かな恵みを生かして木製家具を製造 生産能力の高さと技術力を強みに県内外から受注

山の恵みが豊かな川本町の山間で木製家具製造業を営んでいる有限会社創修。

1961（昭和36）年の創業以来、品質と信頼にこだわったものづくりで高い評価を得てきた。婚礼家具を中心に扱っていた初代に次ぎ、2代目はオフィス家具メーカーとの契約などで受注を拡大。2004（平成16）年に新たな会社を設立して事業を承継した代表取締役の大谷美希氏は、「目をかけ、手をかける」という思いで家具製造に携わってきた。協力業者としてユニット家具を多く手掛けてきた経験から短納期大量生産に応えられる能力を持ちつつ、オーダーメイドの別注家具にも対応できる技術力が強みだ」と話す。

現在は、県外の家具メーカーや設計事務所、建築会社などからの下請け受注のほか、地元の教育・福祉施設などからの元請け受注で、さまざまな家具を製作している。

独自性や高品質化を狙い、レーザー加工機を導入 新たに「ひらがな積み木」を商品開発

家具製造一筋の会社に転機が訪れたのは、約20年前。地元保育園保護者会から、卒園祝いとして下駄箱の注文を受けたことだった。納品時、大谷代表取締役は糸のこで作成した動物型のキーホルダーを卒園児約20人にプレゼント。電気ペンで一人一人の名前を刻んだ1点物の作品は、保護者や先生からも好評で、新規事業としての可能性を見いだした。その後、徐々に評判が広がってオリジナル小物の受注が増え、2015（平成27）年からは川本町の依頼で新生児に贈る写真立ての制作を担当。プレートには、生まれた日時、干支のイラストなども電気ペンで記した。

しかし、電気ペンでは細かい文字やイラストが描きにくく、バリエーションに限界があった。そこで2018（平成30）年、補助事業を活用してレーザー加工機を導入。パソコンからデータを送信するだけ



代表取締役 大谷 美希



①レーザー加工機で「ひらがな積み木」に彫刻する様子
②スピーディーにイラストや文字を刻んでいくレーザー加工機
③熟練の職人が家具を製造している工場内の様子
④おもてなしセレクション金賞を受賞した「ひらがな積み木」



でさまざまな文字やイラストをスピーディーに描くことができるようになり、下書きから文字入れまで約半日かかっていた誕生日プレートへの彫刻時間は、約15分に短縮された。

レーザー加工機導入後、新たに開発した商品が、島根県産ヒノキで作る「ひらがな積み木」だ。角がないよう職人が手作業で磨いた4㍻四方の積み木に、文字やイラストを加工。持ち運びに便利なケースは、一枚板をくり抜いて作るという凝りようだ。「遊びの中で木の良さを感じてほしい」という思いが込められた逸品に仕上がった。

「おもてなしセレクション」金賞を受賞 商品アイテムや販路拡大を目指す

商品の品質やオリジナリティーの高さに比し、営業力の弱さが課題だった「ひらがな積み木」だが、2018年に川本町のふるさと納税返礼品に採用されるなどして徐々に浸透。2025（令和7）年には、日本の優れた商品・サービスを認定し、国内外に発信する「おもてなしセレクション」の金賞を受賞した。知育玩具としての教育的価値の高さと、木工製品としての品質が評価されたのだ。

同社の売り上げは現在、下請け受注が約99％を占めるが、レーザー加工機の導入などをきっかけにオリジナル商品の開発にも注力。特に、ままごとキッチンや動物シルエットの椅子、バランス積み木など子供向けの木製玩具・家具を多く生み出している。「1点1点職人が手作業で作上げた玩具には、作り手の思いも深く込められている。今後は商品アイテムも増やし、よりお客様のニーズに合わせた細やかなものづくりを追求していきたい」と大谷代表取締役は抱負を語った。

Company Data

有限会社創修



外観

代表者名	大谷 美希
設立年	2004（平成16）年
資本金	3,000千円
従業員数	7名
主たる業種	家具・装備品製造業
本社	〒696-0001 邑智郡川本町川本1086-1
電話	0855-72-1556
FAX	0855-72-0563